

丸山谷戸援農クラブ（MYEC）のホームページ開設までの経緯

MYEC ホームページ開設は、2022年2月、前年入会の高木さんから、クラブのホームページ作りませんかという声掛けに始まりました。

もともと私には、MYEC 発足後16年を経て後継者問題や近隣市街住民の方々への情報発信などが気がかりでした。

なので、ネットでの情報発信ができないものかと考えていたところでした。

高木さんご夫妻は、脱サラして藤沢に移住してきたばかりです。奥さんの美咲さんは国家資格を生かして、ホームページ作成事業を立ち上げ、時の要請もあり軌道に乗りつつある。ホームページ教室も立ち上げたところで、新たに社会還元の一環として、NPO 法人など非営利団体のホームページ作りに協力したいと「1% For You」というボランティア部門を作ろうとしている。その第1号として、MYEC にホームページを無料で作ってあげたい、との申し出である。ただし、別途外部サーバーとドメイン使用料で年間5000円程の費用負担は必要との事。

しかし、ホームページの困難さは、その出来栄えよりコンテンツとその更新にあることは、20年以上も前に妻の仕事のためにジオシティーズにホームページを企画・コーディングして公開した経験からわかっていた。樋口代表をはじめ主要なメンバーに打診をし、また、高木さんが運営する Likeness Design (<https://likeness-design.com>) の内容を閲覧吟味して、ようやく 作成を依頼することにしたのは1か月後の3月であった。樋口さんの GO! サインで、4月に創設メンバーの下条さんとともにデニーズ六会店で高木美咲さんとお会いして、大まかなホームページのスタイルを伝え、あとは高木さんにお任せすることにした。しばらくして簡単なイメージ図を描いてもらい、写真の提供を行いある程度の書割ができたところの6月25日に会員の皆さんに映像使用の同意を貰うことに。皆さんの回答は概ね好意的で自由に使って良い、気にしないというものでした。しかし、3名の方達からは写真提供拒否の意見も寄せられた。その後被写体に考慮しつつ、数度の役員・創設メンバー・作業世話人の方々に意見を貰い作成を進め、また集会を持って皆さんの意見を反映させてきた。

一方、16年の歴史を切り開いてきたスタートメンバーの方に当時を振り返ったストーリーを依頼しても、皆しり込みされてしまったので、ホームページの完成ははかばかしくなかった。その中で、ただ一人下条さんが原稿を引き受けてくれて、素晴らしい文を送ってくれた。その書き出しは、「かすかな記憶をよみがえらせて…」であった。これに勇気づけられて、谷戸の年譜、谷戸の蘊蓄、三大谷戸・・・などを書き上げやっとなったテスト版を創設メンバーや、世話人の方々に配布するまでに漕ぎつけました。ところが、やはり「かすかな記憶」は、異論続出し、年譜の現在までの時の流れもダメだし連続となった。10月、遅くとも11月中半の公開目論見は吹き飛びました。その間小野さんからは貴重な「タウン

ニュース」平成18年4月から11月号の提供を受け、休耕田復元～収穫祭迄の情報を得ました。また、仲瀬さんは保存してあったパソコンの記録を遡り、FGS 事務局時代に畠中さんが里山ボランティアリーダー講座の講師だった富田さんから、丸山谷戸の復元の依頼を受けた件やその後の復元田の記録を掘り起こしてくれました。一方畠中さんは富田さんが何故丸山谷戸に狙いをつけたかの手記を依頼してくれました。ある地権者の方の家にお邪魔した折にお話を伺う機会がありました。「子供の頃は谷戸田が家の前、そこまであって季節になるとホタルが乱舞していた」こと、「昭和40年頃、横浜市の水道工事があって、(横浜市は)工事が終われば水が戻るといっていたが、谷戸の水量が激減し、ここ(谷戸の上流)の田んぼができなくなった」など昔の話を伺ったのです。60年前ははるかに豊かな自然があったのです。またある農家の方からは、谷戸田休耕田の復元にまつわる貴重な情報とホームページ運用に当たっての指針を示していただきました。

下条さんの寄稿は当時の雰囲気伝えるスタート時のストーリーであるとそのまま皆さんの賛同を得ることができました。

ドメイン名は.ne.jp や.com ではなく一番安い「.org」使うことにしましたが、すでに「myec.org」は使われていたので「myec-fujisawa.org」を選定し、高木さんに紹介された「さくらインターネット(株)」でサーバー(¥1571/年)とドメイン(¥2493/年)を申し込みました。

いろいろありましたがお陰様で、12月18日、ホームページ(<https://myec-fujisawa.org>)は公開に漕ぎつけました。高木さんには第一子出産のため実家に帰る年末間際まで、ホームページ作成と手直しの連続で大変なご迷惑と心配をおかけしてしまいました。ここに深く感謝の意を表するとともに、ホームページの内容を高めるため大変貴重な記憶や情報を掘り起こして下さった方々のご努力に感謝し御礼申し上げます。

でもこれで終わりというわけではありません。むしろこれからが肝心で、公開ブログをできる限り頻繁に更新したいと思います。それには、MYEC 会員皆様の力添えが不可欠ですので、皆様には日々テーマを探して提供していただきたいです。

新しい情報が若くて志ある人材の関心を誘い MYEC のファンになっていただくきっかけになると信じて。

私たちは地権者の皆様のご厚意に感謝しつつ石川丸山谷戸ホタル保存会と一体となって、この残された貴重な里地里山、石川丸山谷戸を守って行こうではありませんか。

当面は事務局内にホームページ編集部を置きます。今後その支援スタッフを募りますのでご協力よろしくをお願いします。

事務局 岩村

